

授業科目	民法演習
演習題目	民法問題解決の実践思考
担当教員	津田 慧
授業の目的	<p>当ゼミでは、民法の問題を解決する際に必要となる思考を実践的に身に付けることを目的として、民法理論のコアに触れている近時の判例を分析したり、重要なのに誤解されやすい事例問題に取り組んだりします。とりわけ、頑張っているけれど民法に苦手意識があるような方にとって、学ぶことが少し楽に感じられるようなゼミを目指します。</p> <p>なお、実践的な問題解決スキルを磨くため、希望者による「自主ゼミ」（司法試験・予備試験・ロースクール入試対策など）も開催しています。教員も必要に応じて解説や起案添削を行います。</p>
履修条件	<p>当ゼミ発足2年目となる2026年度は、前年度のゼミの体制・構成を一新し、小規模で機動的に運営を試行錯誤したいと考えています。このような方針のもとではありますが、ゼミ活動に対する意欲があり、教員や他のゼミ生から知識を吸収しようとする姿勢をもった方であれば、どなたでも歓迎します。</p>
教科書・参考書	ゼミ内で紹介します。
授業の計画・内容	<p><u>判例報告</u>と<u>事例問題演習</u>を柱にする予定です。いずれの回も、教員から「これだけはおさえておくべきポイント」を説明する時間を設けます。</p> <p><u>判例報告</u> グループごとに、教員が候補に挙げた複数の判例の中から一つを選び、事案の概要や判旨とともに学説・裁判例の状況や射程などを検討・報告いただきます。</p> <p><u>事例問題演習</u> グループごとに、教員が指定した事例問題について起案・報告いただきます。</p> <p>なお、希望があれば、ゲスト講義やゼミ外活動を行うこともあります。</p>
成績評価の方法	<p>次の要素を総合的に勘案します（その他の加点事由もあります。）。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ゼミへの参加態度（質疑応答の内容など）……………50% ・各報告の内容……………50% <p>出席に関するルールは、次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・無断欠席・遅刻は、認めません。 ・やむを得ず欠席・遅刻する場合には、事前に教員の許可を得るものとします。欠席・遅刻が許可された場合であっても、代替の課題に取り組んでいただくことがあります。 ・無断欠席があった場合、又は無断の遅刻が複数回あった場合には、以後の参加を認めず、単位も認定しません。